

たましま協同病院だより

玉島協同病院

倉敷市玉島柏島5209-1

電話(086) 523-1234

http://www.tamakyo.com/

発行責任者 青木弘人

〔病院理念〕玉島とその周辺の地域で暮らす人々が、疾病・障害のあるなしにかかわらず、その人らしく輝いて暮らせ、安心して一生を終えることを支援する医療機関でありたいと願います

被爆80年

原水爆禁止2025年世界大会 【長崎】に参加して



原水爆禁止世界大会とは、核兵器の廃絶と平和な世界の実現を目指し、毎年広島と長崎で開催される国際的な集会です。

今年の長崎のつどいのテーマは「被爆体験の継承と未来」、被爆から80年になり、戦争を知る世代がますます減少し、記憶の継承が課題になっています。核兵器が使われれば何が起きるのか、当時の記憶を鮮明に覚えている生存被爆者の生の声、被爆者の体験とメッセージ、当時の写真や映像を交えながら、話を聞くことができました。被爆者の証言では、語り手・田中照巳さんの話が特に印象に残りました。田中さんは、長崎で13歳の時に被爆されました。長年、被爆者運動の中核を担っており、2024年10月11日、田中さんが代表委員として所属する日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞し、授賞式ではスピーチされています。「被爆80年記念誌」が図書へありますので、読んでみたいという方はご相談ください。

(外来看護師 永田 幸子)



玉島支所前での出発式にて記念撮影

私は今年、国民平和大行進に初めて参加しました。国民平和大行進は1958年から続く活動で、毎年8月にスタート地点の東京からゴールの広島へ向かって「戦争反対」「核兵器を無くそう」と声を上げながら歩く伝統行進です。

炎天下の中、汗をかきながら歩くのは大変でしたが、少しでも多くの人たちにこの想いが伝わり、平和な世界の実現が叶うことを思うと、「私も頑張ろう」と前に進むことができました。



平和への祈りを込め千羽鶴を寄贈

国民平和大行進に参加

バトンで繋ぐ平和への想い

今回の経験を通して、平和を願う一人ひとりの想い



避難誘導を行なう様子

今回の訓練は、初期消火に失敗し、患者さんを安全な場所へ誘導することを目標に実施しました。私は火災報知器が作動したのを聞いて、院内に放送で避難を呼びかける係をしました。放送内容のマニュアルが用

意されてはいますが、どこへ逃げるように指示するか、など具体的な内容は自分で考えて、必要に応じて放送することが求められます。また、各部署から避難人数報告をする指示で、報告がない部署は何度も繰り返し呼びかけたりもしました。サイレンが鳴り響く中、避難呼びかけや人数報告の周知することによって、実際に災害が起こったときのイメージがわき



放水訓練の様子

新人職員や異動してきた職員が多く参加し、恒例の消火器・放水訓練も行いました。このような訓練を通して、患者さんや職員、そして自らの命を守る行動が出来る職場作りを目指していきたいと思っています。

(事務課 日笠 未久)

2025年度 第1回 消防避難訓練を開催

7月29日に「昼間に療養病棟のキッチンで火災発生」を想定とした、今年度1回目の消防避難訓練を実施しました。

が繋がっていくことを感じました。そして、戦争や核兵器のない未来をつくるには、まず関心を持ち、声を上げることが大切だと気づきました。今ある平和は当たり前ではなく、多くの犠牲と努力の上にあることを忘れずにいたいです。この行進で得た想いや学びを、これからも積極的に周りに伝えていきたいと思っています。

(事務課 安東 優姫)



進藤院長を筆頭に行進する玉協スタッフ達



Follow Us!

玉島協同病院
公式Instagram

@tamashima_kyoudou



戦後80年。活動を通して 引き継がれる平和への願い

2025年8月、被爆・終戦から80年の月日が経ちました。当院では毎年、平和学習を行っており、今年は80年という節目ということから、様々な取り組みの活動報告をしました。

長崎県の原水爆禁止世界大会に参加した永田看護師は、被爆者の貴重な話を持ち帰り、職員に戦争の恐ろしさを語りかけました。“今日の聞き手は、明日の語り部”。被爆者が減っていく中、戦争を経験していない我々が次世代に戦争の恐ろしさを伝えていく必要があると思いました。

また、青木事務長による9条の碑の建立について報告がありました。職員や組合員さんをはじめ、多くの方の賛同のもと作り上げた9条の碑は、玉島の平和のシンボルです。9条の碑に携わってくださった組合員さんの社

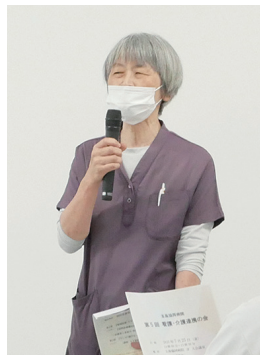


青木事務長による活動報告の様子

保・平和の取り組み紹介もあり、戦争のない世界を願って今後も様々な活動をしていきたいと思っています。
(社保平和委員会 日笠 未久)



会場の様子



開会の挨拶をする清水医師

7月25日に看護・介護連携の会を開催し、50名近くの方が参加をされました。前半は「地域医療・ケアサポートセンターの紹介」と「訪問診療に関する満足度アンケート調査報告」を行い、院内の看護部人事の紹介と挨拶もさせていただきました。

満足度アンケート調査は施設職員の方を対象に行い、有り難いご意見から改善の余地がある貴重なご意見まで多数お寄せいただきました。いただいた内容を真摯に受け止め、改善に向けた検討や取り組みを行っていききたいと思います。

後半は、大王製紙株式会社の方に「オシメの選び方・正しいあて方」の講演をしていただきました。尿漏れを防ぐおしめのあて方やコツ、リハビリパンツには破りやすい向



大王製紙様による
おしめのレクチャー

きがある等、目から鱗のような話もあり、皆さん最後まで真剣に話を聞かれていました。

今後も地域の介護事業所の皆さんとの連携を深めていきたいと思っています。

(医療福祉相談室 西村 みゆき)



第5回 看護・介護連携の会を開催

玉島協同病院は今後も部屋代はいただきません／カルテを開示しています

加集万里子のお料理教室

シリーズ 201



チョレギサラダ豆腐のせ



たれは韓国風、野菜がたくさん食べられます。豆腐をのせることでボリュームが出て、タンパク質もとれます。

材 料 (2人分)

- ♥ サニーレタスカレタス 半株
- ♥ きゅうり 1本
- ♥ あれば水菜か豆苗 少々
- ♥ にんじん、トマト 少々
- ♥ 海苔 少々
- ♥ 豆腐 0.5~1丁

チョレギサラダのたれ

- ♥ 砂糖 小さじ1
- ♥ 酢 小さじ1
- ♥ しょうゆ 小さじ2
- ♥ 鶏ガラスープの素 小さじ1
- ♥ ビリ辛のたれにるときは、コチジャンをお好みの量加える
- ♥ ゴマ油 小さじ2
- ♥ ごま 大さじ1
- ♥ にんにくのすりおろし 1かけ分(チューブ2cm)

作り方

- ① たれの材料を合わせておく。
- ② レタス類は洗って手でちぎっておく。きゅうり、にんじんは千切り、水菜か豆苗は洗い、3cm位に切る。野菜類の水気をよく取っておく。
- ③ 野菜にたれを加え、ボールの底からよく混ぜる。皿に盛り付けたら豆腐、海苔をちぎってのせる。

たれを絡めると野菜が少ししなりして食べやすくなります。

2025年 通所リハビリ 夏祭り 開催しました!

8月20日から22日の3日間、夏祭りを行いました。

利用者さんには夏祭りの飾り作りや、当日の金魚すくい・スイカ割り・輪投げの進行などを手伝っていただきました。

金魚すくいでは手作りの「ばい」で思う存分すくっていただき、輪投げではお目当ての景品をゲット出来た方もそうでない方も、ジュースやお菓子を手にして喜ばれていました。

スイカ割りではスイカ柄のビーチボールを使ったので、思い切り叩くと大きく飛び跳ねるなどのハプニングがあり、楽しさが倍増しました。

最後は職員と利用者さんで盆踊り。踊れない方はうちわを振って一緒に盛り上がりました。



猛暑を吹き飛ばし、笑い声に満ちた夏祭りでした。これからも次々と催しを計画していきますので、どなたでも寄ってくださいね。お待ちしております。

(通所リハビリ 吉田 昌子)

玉島協同病院は無料低額診療事業を行っています。お気軽にご相談下さい。